



えがおがいっぱい 5月



友達と過ごして 育つこと

幼稚園型認定こども園 和光幼稚園

令和2年5月29日(金)

主幹 三月田 智子

新年度が始まり2か月が経とうとしています。自主登園期間もあり、なかなか生活のリズムがつかめない状態ではあったかもしれませんが、新入園児も在園児も少しずつ新しいクラスやその環境に慣れてきて、幼稚園での活動に取り組んでいるようです。

新しい友達の顔と名前も覚え、「〇〇ちゃんはお休みだよ。」と教えてくれたり、久しぶりに登園してくると「〇〇君が来て嬉しいな！」と喜んだり。友達の存在に関心や喜びを感じているようです。

子どもたちにとって、幼稚園で出会う友達や先生方は、お父さんやお母さんたちなど家族以外で一緒に過ごす初めての相手です。一緒に遊んでいる中では、楽しくて笑顔が溢れる時もあるれば、喧嘩をして涙する事もあります。まだまだ言葉の発達が未熟な2歳・3歳の子どもたちは、どうにかして自分の気持ちを伝えようと笑ったり、泣いたり、怒ったりと表情や態度で伝えたりします。

そうして、子どもたちは、幼稚園という集団生活の中で、人間関係を学んでいきます。その中で、友達と同じ気持ちを共感し合ったり、友達の良さに気付いて一緒に活動する楽しさを味わったり、自分や友達の行動に対する様々な反応を見て、よいことや悪い事があることに気付いて、考えながら行動するようになります。

私たち教諭は、これからも、子どもたちが大好きな友達や先生方と過ごしていく中で、周りの人に感謝をし、思いやりのある優しい心を持てるよう、そして、友達と過ごすことの楽しさを味わえるよう、日々勤めていこうと思います。



いつも、げんきな
あいさつ ありがとう

しんらんさま、おているの？



5月21日は、親鸞様のお誕生日でした。

幼稚園では、20日に、年長組と年中組は鹿児島別院の本堂で、年少組と年少少組は幼稚園でお誕生日のお参りがありました。お誕生日という事で、マドレーヌのお土産を一人1個ずつ持ち帰ったと思いますが、おいしくいただきましたか？自分たちと同じように、親鸞様にも誕生日があるということで、子どもたちも、少し親鸞様を身近に感じたのではないかと思います。

ある朝、登園してきた年少少組のA君。「しんらんさまは ねているのかな？」と園長先生につぶやいたそうです。

子どもたちが毎日会っている親鸞様は、晴れの日も雨の日も、暑い日も寒い日も、ずっと立ったまま私たちを見守ってくれています。

そのお姿を見て、ふと不思議に思ったのでしょうか。親鸞様を身近に感じているそのつぶやきに、きっと親鸞様も微笑んでくれたことなのでしょうね！